

山梨県の広報誌

ふれあい

特集号

夏

vol.61



豊かさを実感できるやまなしを目指して

巻頭
P2

長崎県政 スタートダッシュ!

総合計画/初の政策予算

NEWS
P6

中部横断自動車道 前進!

県負担額164億から1億に削減/長坂~八千穂が事業化へ

特集
P8

山梨の山の魅力と その恵み

山岳ライター
小林 千穂さん

動画で
見てみよう

山梨県総合計画の暫定版(暫定計画)

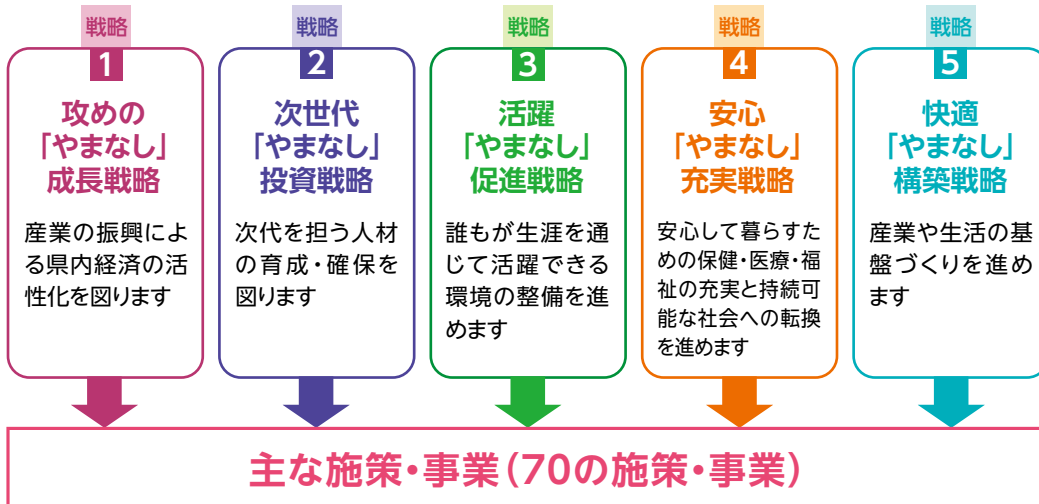
計画では、2040年ごろまでに目指すべき本県の姿を「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」としました。そして、その実現に向けた取り組みの方向性を5つの戦略に整理し、これからの4年間に実施する施策・事業の内容や工程などを明らかにするアクションプランとなっています。

県民の皆さんはもちろん、市町村、民間企業などとのパートナーシップにより、この山梨の地こそ、最も自分が輝ける場所であり、幸せになれる場所となるよう、一人ひとりが抱く夢や希望を実現できる県、もっと豊かさと幸せを実感できる県を目指します。

目指すべき姿

県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし

基本戦略(5つの戦略+行財政改革)



※最終的な総合計画では、戦略を具体化するために、各戦略に複数の政策を位置付け、各政策により多くの施策・事業を掲げ、目指すべき姿の実現に向けた取り組みを体系化します。



本年12月を目途に、最終的な総合計画を策定します。
県民の皆さんのご意見、ご提言を募集中

- 募集期間 / ~8月31日(土)
- 閲覧方法 / 県ホームページ、県民情報センター、各地域県民センター、県内各公立図書館など

計画づくりに若手職員が参加

今回の計画策定では、総合計画推進会議に、2040年ごろ県の主力となる若手職員を中心とする6つの分科会を設置し、自由闊達に議論、検討を行っています。



教育子育て分科会のメンバー

県では、新たな県政運営の指針となる山梨県総合計画を策定しています。本年6月には総合計画の暫定版(暫定計画)を公表し、これに基づく本格的政策予算が成立しました。

「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」を目指して 長崎県政スタートダッシュ!



超積極型！ 長崎県政初の本格的政策予算

県政の前進へ大きな一歩

6月28日に成立した補正予算は、長崎知事就任後初めての本格的政策予算です。知事の掲げる「県民一人ひとりが豊かさを実感できるやまなし」の実現に向け、県民の皆さんが県政の前進を実感できるよう、400億円を超える規模の超積極型補正予算を編成しました。

また、国の資金の積極的な活用により県負担の抑制を図り、大胆な予算規模の確保と、持続可能な財政運営の両立を図りました。

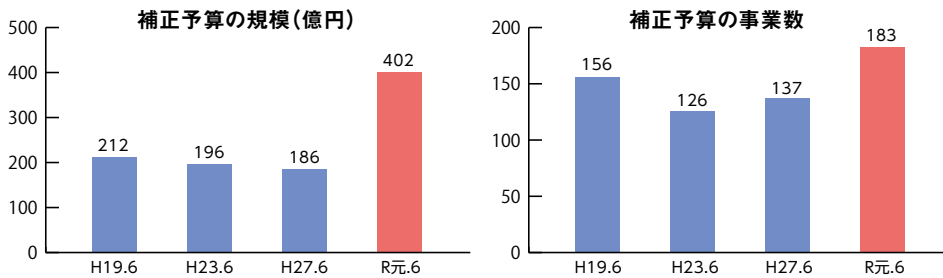
予算のポイント

1 全ての公約項目に着手

知事公約の実現に向けた事業について積極的に予算化し、当初予算などと合わせて、全ての公約項目に着手する体制が整いました。

2 県政史上3番目の十分な予算規模

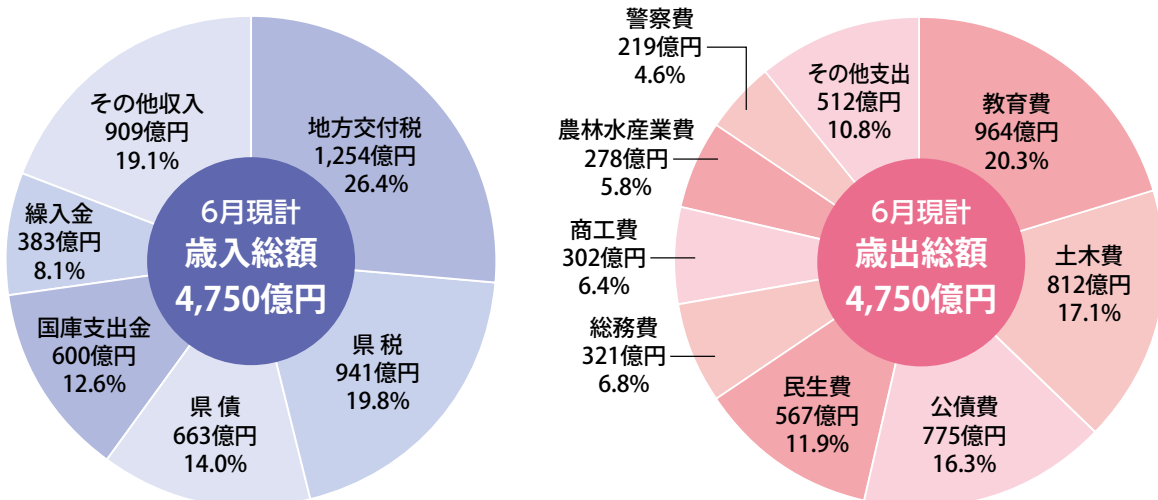
予算規模は補正予算としては県政史上3番目に大きい401.8億円、事業数も183事業（うち新規事業128事業）と、過去の補正予算と比較して大胆な規模を確保しました。



3 国の資金の積極的活用と県負担の抑制

国庫支出金の取り込みを徹底するとともに、有利な財源措置のある県債を最大限活用することにより、予算規模に比して大幅に県負担を抑制しました。

令和元年度一般会計6月現計予算額 ※当初予算との合計額です。



令和元年度予算の主要事業

戦略1 攻めの「やまなし」成長戦略

富士山登山鉄道検討費 4,176万円

富士山登山鉄道の課題などを検討し、基本構想を策定。

東京オリンピック・パラリンピック総合推進事業費 1,373万円

機運の醸成、聖火リレーや自転車競技ロードレースの開催準備などを総合的かつ計画的に推進。

ラグビーワールドカップ事前キャンプ受入事業費補助金 500万円

実行委員会が行う受け入れ準備や機運醸成に要する経費に助成。

リニアやまなしビジョン(仮称)策定事業費 5,536万円

リニア開業を機に、本県に富を呼び込み、県民生活の豊かさに直結させていくための方針などを策定。

医療・介護資源を活用したツーリズム検討事業費 228万円

医療・介護資源を活用したツーリズムの実現可能性を検討。

森林環境譲与税基金事業費 3,062万円

市町村が行う森林経営管理計画の作成支援、東京圏における県産材の需要拡大を推進するための試作品開発への助成、県産材の販路開拓を図るための市場調査などを実施。

「メディカル・デバイス・コリドー」計画策定費 1,443万円

機械電子産業の医療機器分野への進出支援と医療機器産業の集積に向けた計画を策定。

起業チャレンジ事業費 300万円

高校生・大学生を対象に地域の課題解決をテーマにしたビジネスアイデアコンテストを開催。

やまなしイノベーション創出事業費補助金 4,000万円

中小企業の研究開発や小規模事業者の経営革新、事業承継に向けた取り組みなどに助成。

伝統的観光地再活性化支援事業費 100万円

市町村が行う伝統的な観光地の再活性化に向けた取り組みに助成。

地域連携DMO事業費 1,650万円

やまなし観光推進機構(地域連携DMO)によるビッグデータを活用した外国人観光客の動態調査などを実施。

未来を拓くやまなし農業応援事業費補助金 4,000万円

効率的な農業の実現や魅力ある農山村の創出に向けた施設整備などに助成。

農産物販路拡大支援事業費 2,093万円

輸出先国開拓のための調査や輸出拡大に向けたテスト輸出など。

サイクル王国やまなし推進事業費 238万円

安全で快適な自転車利用環境の創出に向けた検討などを実施。



戦略2 次世代「やまなし」投資戦略

やまなしU・ターン就職支援センター事業費 897万円

移住やU・ターン就職などに関する新たな相談窓口を都内に設置。

自然保育導入推進事業費 250万円

幼児を心身ともに健やかに育てるため、保育所などにおける自然保育の導入を推進。

愛宕山こどもの国再整備事業費 1,268万円

愛宕山こどもの国の再整備に向けた基本計画を策定。

やまなしで働く魅力情報発信事業費 332万円

学生や保護者に対して、本県で働くメリットや魅力についての情報を発信。



県立学校冷房設備設置費 4,142万円

県立学校トイレ洋式化事業費 5,794万円

児童生徒に快適な学習環境を提供するため、冷房設備の設置、トイレの洋式化を実施。

少人数教育推進検討委員会開催費 33万円

公立小中学校への25人学級の導入について検討。



戦略 3 活躍「やまなし」促進戦略

外国人材受入・共生推進費 2,089万円

外国人材の受け入れ促進と共生社会の実現に向け、企業向け相談窓口の設置や在留外国人の生活実態及び民間支援状況に関する調査などを実施。

女性活躍応援プロジェクト事業費 636万円

女性が活躍できる職場環境づくりに向けた企業の取り組みを支援。

働き方改革に向けたICT環境整備事業費 2,159万円

在宅勤務や業務効率化に向けたICT環境の整備を実施。



県内企業で溶接技術の指導を受ける外国人従業員(左)

フレイル予防促進事業費 512万円

加齢に伴う身体や認知機能などの低下を防ぐための取り組みを促進。

やまなし女性の起業応援事業費 250万円

起業に必要な知識を習得するための講座や起業経験者との交流会などを実施。

多文化共生総合相談ワンストップセンター運営費 472万円

在留外国人に対し生活全般の情報提供や相談対応を多言語で行う窓口を運営。



女性の起業に向けた講座

戦略 4 安心「やまなし」充実戦略

やまなし地域づくり交流センター(仮称)整備事業費 2,064万円

地域住民が主体となった住みよい社会づくりに向けて交流センターを整備。

若年性認知症対策推進事業費 393万円

コーディネーターの配置などによる若年性認知症対策の支援体制を強化。

地域医療介護総合確保基金事業費(介護) 12億5,087万円

地域の包括的な介護支援・サービス提供体制を構築するための事業を実施。

依存症対策推進事業費 223万円

依存症対策を効果的に推進するための相談拠点の設置など。

心身障害児(者)歯科診療体制強化事業費補助金 232万円

安全で患者負担の少ない麻酔技術を持つ歯科医師の養成に助成。

がん患者妊娠・出産支援事業費 650万円

妊娠・出産のための治療を行うがん患者を支援。

マイクロプラスチック等発生抑制計画策定事業費 630万円

河川を通じた海洋環境の保全を図るための計画を策定。

やまなしクールチョイス県民運動推進事業費 831万円

地球温暖化対策を推進するための県民運動を実施。



戦略 5 快適「やまなし」構築戦略

ふるさと山梨定住機構事業費 817万千円

移住、U・Iターン就職、移住後の支援などに関する県内相談窓口を設置。

移住コンシェルジュチーム活動促進事業費 292万円

移住者の定住に向け、市町村と地域の民間団体などが行う取り組みを支援。

交通弱者移動支援サービス導入事業費 171万円

公共交通空白地における新たな交通サービスの導入促進のための取り組みを実施。

公共施設等適正管理推進事業費 14億968万円

公共施設の長寿命化改修工事などを実施。

富士山火山広域避難対策推進事業費 1,065万円

市町村による避難誘導が円滑に実施できるよう、広域的な避難行動計画を策定。

防災・減災、国土強靱化等を推進する 公共事業費・県単独公共事業費 119億6,252万円

国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に対応した公共事業などを実施。



富士山噴火を想定した避難訓練

日本の未来を切り拓く地 山梨づくりに向け

中部横断自動車道 前進!



中部横断自動車道 下部温泉早川IC (提供:国土交通省)



県負担額の大幅削減の実現について発表する長崎知事

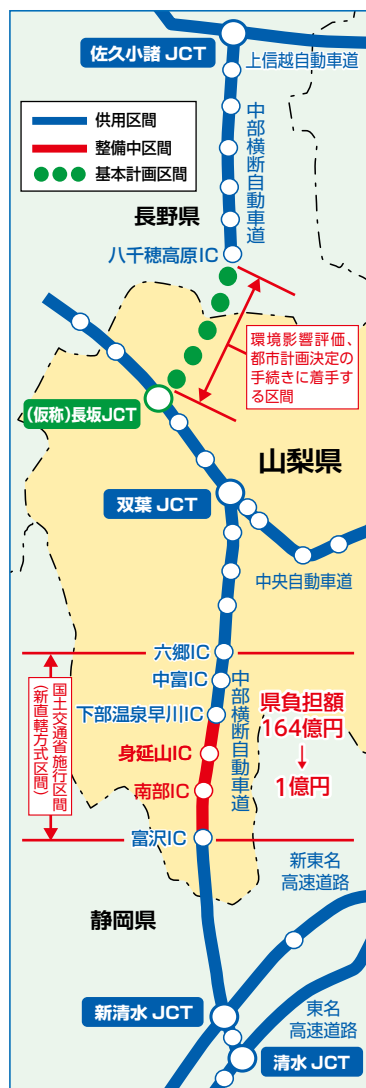
2020年中の全線開通を目指して整備を進めている富沢IC～六郷ICの県負担額の大幅削減が実現しました。また、唯一残された、(仮称)長坂JCT～八千穂高原ICについても、事業化へ向けた手続きがスタートします。

**富沢IC～六郷IC(新直轄方式区間)
県負担額164億円→1億円に削減**

中 部横断自動車道の新直轄方式区間の県負担額は、トンネル工事の難航や工期延長などにより、約32億円から約164億円に膨らみ、小規模県である本県にとって極めて大きな負担となっていました。

長崎知事は就任以降、山間部が多く、工事区間に占めるトンネルや橋の割合が7割もあること、軟弱な地盤などの影響で工事が難航していることなど、本県の実情を国へ訴え、県負担額の削減について要望活動を重ねてきました。その結果7月1日、本県の主張が国に受け止められて、地方交付税の算定方法が見直され、交付税措置の大幅な拡充がなされることになりました。知事の最優先公約の実現に伴い、約164億円

の実質的な県負担額はほぼ解消し、約1億円にまで削減される見込みとなり、本県の財政に非常に大きな効果をもたらします。



**(仮称)長坂JCT～八千穂高原IC
事業化へ大きな一歩**

2 月の就任以降、あらゆる機会を捉えた国への要望活動など、働き掛けを強めてきた結果、長坂から八千穂間に、6月28日に事業者である国土交通省から事業化の前段階となる環境影響評価(環境アセスメント)の方法書(案)が提出されました。これにより、同区間の都市計画決定と、環境影響評価の手続きがスタートします。県では今後、方法書(案)を公開し、地域住民への説明を行います。住民意見は知事の意見と共に国へ報告し、環境影響評価に反映されることとなります。国家規模のプロジェクトが、ついに前進し「日本の未来を切り拓く地」山梨づくりに向け、大きな一歩を踏み出しました。今後も全線開通の早期実現を目指していきます。

山梨の今々をお届けする情報ページ

美の伝承を願い「令和月照金梅富嶽昇龍神図」寄贈

日

本画やキャラクターデザイナーなど、さまざまなジャンルで活躍されている画家・井上文太さんから、本県のために制作した絵画「令和月照金梅富嶽昇龍神図」が寄贈され、7月3日に県庁で除幕式が行われました。

井上さんからは「世界に誇る富士山を、周辺に見ている山梨県の皆さんがうらやましいです。新しい令和の時代



に、新しい知事を迎えた山梨県で、美を育み、伝承する人たちが増えるきっかけになればうれしいです」と、寄贈に込めた思いが伝えられました。

長崎知事は寄贈された作品を前に「壮大なスケールの絵画を寄贈していただき、大変感謝します。この作品によつて、県民の皆さんの芸術文化に対する関心が一層高まることを期待したいです。富士山から天に

昇る龍のように、力強く、スピード感を持って、山梨がもつと豊かになるよう発展させていきたいです」とお礼と決意を述べました。

寄贈された絵画は、額装を含め縦約2.2メートル、横約1.3メートル。県庁本館・受付横の階段の踊り場に展示され、県庁を訪れる皆さんを出迎えるとともに、本県の飛躍を見守ってくれることでしょう。

地球温暖化対策のさらなる推進へ「やまなしクールチョイス県民運動」がスタート!

こ

の運動は、県民一人ひとりに、日常生活の中で身近にでき、温暖化対策につながるアクションを選択してもらい、実践の輪を広げていくものです。取り組みの一つとして、9月30日まで

「やまなしクールシェア」を実施中です。クールシェアとは、夏の日中に家庭の電気使用量の半分以上を占めるエアコンの使用を減らし、涼しい場所をみんなに分かち合い(シェアして)、省エネ・節電につなげること。「クールシェアスポット」として登録された県内各地の施設などで、夏の日中を涼しく過ごしましょう。



甲府駅前であちわなどの啓発物品を配布し、県民運動をPR

また、環境家計簿アプリ「えこメモ」では、家庭のエネルギー消費量を入力するだけで、二酸化炭素排出量が見える化でき、削減へのモチベーションが上がります。本県はノーレジ袋推進の先進県です

が、マイバッグの使用を一層進めることで、温暖化対策だけでなく、プラスチックごみになり得るレジ袋の削減につながります。生活の中には温暖化対策になるアクションがたくさんありますので、県民の皆さんには賢い選択(クールチョイス)をしていただき、この運動へのご参加をお願いします。

現在、「やまなしクールチョイス県民運動」に率先して取り組む「クールチョイスサポーター」を募集しています。県では、県民総参加の運動として普及・拡大するよう、サポーターなどと連携しながら取り組んでいきます。



やまなし環境家計簿アプリ「えこメモ」。まずは登録を!

山梨の山の魅力とその恵み

本県は、世界遺産富士山をはじめ日本屈指の名峰を有する山岳県であり、県土の約8割を森林が占める国内有数の森林県です。6月には南アルプスに加え、甲武信ヶ岳周辺地域がユネスコエコパークに登録され、8月には本県において『山の日』記念全国大会』が開催されるなど、山梨の多様な自然や文化に注目が集まっています。山梨の山や森林の魅力を見つめ直してみませんか。



山梨の山を楽しみ、未来へつなぐ

里山から名峰と称される山々までが連なり、その素晴らしい自然から享受する恩恵や文化が大切に受け継がれてきた山梨。今回は『山の日』記念全国大会』のトークショーに出演する山岳ライターの小林千穂さんに、山梨の山の魅力やその恵みについて語ってもらいました。

山梨の恵まれた山や自然を誇りに思ってもらいたい

山梨の山の魅力といえば、まず富士山があること。そして富士山に加え北岳、間ノ岳（北岳）という日本で標高が高いトップ3の山があることです。そして山との距離が近く、すぐに自然と触れ合えることも素晴らしいことだと思います。私は結婚を機に山梨に移住したのですが、父が上野原市出身で、母のルーツも忍野村にあります。また、本格的な登山を初体験した山が富士山だったこともあり、山梨には以前から縁を感じていました。今は朝起きると窓から富士山を見て、玄関から一歩外に出れば南アルプスや八ヶ岳の山並みが見えるというぜいたくな暮らしができるので、山梨に移住して本当に良かったと思っています。



山梨は首都圏とのアクセスが良いので、山で出会う人は首都圏の方が多く、皆さん富士山が見えると歓声を上



「私の誕生日は8月11日なので、山の日が8月11日に決まったときは、すごくうれしかったです。偶然もらったので、もっと山の魅力をPRしなくてはと使命感を感じているんですよ」と爽やかな笑顔を見せる小林さん

この日は、御坂山塊をトレッキング。新緑の新道峠からは富士山と河口湖を望める

山岳ライター

小林 千穂さん

Chiho Kobayashi

1975年8月11日生まれ。甲府市在住。

山好きの父の影響で幼い頃から山に親しみ、里山歩きから雪山、海外遠征まで幅広く登山を楽しんでいる。山小屋スタッフ、山岳写真家のアシスタントを経て、現在はフリーの山岳ライターとして活躍。

「山と溪谷」「ワンダーフォーゲル」など登山専門誌に多数寄稿。著書に「失敗しない山登り」（講談社）「DVD登山ガイド穂高」（山と溪谷社）などがある。日本山岳ガイド協会認定登山ガイド。山の日アンバサダー。



笛吹市芦川のスズラン群生地を散策



山から受ける恩恵を知り、未来へつなぐ大切さ

日本は山国ですので、山と深く関わっている。富士山や南アルプスが見えるというのは、山梨県民にとっては当たり前のことですが、他県に住む人にとっては、すごく感動的で特別なこと

なんです。県民の皆さんには山梨の山に誇りを持ち、山梨には素晴らしい自然がたくさんあることを心にとどめてほしいと思います。

日本は山国ですので、山と深く関わっている。富士山や南アルプスが見えるというのは、山梨県民にとっては当たり前のことですが、他県に住む人にとっては、すごく感動的で特別なこと

プス、八ヶ岳などすてきな山がたくさんあります。ぜひ皆さんも山に出掛けて自然を満喫しましょう！

私が成り立っています。私にとって「山の日」は、普段の生活を見直し、自然のありがたさを改めて感じる日になっています。さらに今年も、甲武信ヶ岳周辺地域がユネスコエコパークに登録されました。自然の恵みや自然の中で過ごす楽しさを、今だけでなく50年後、100年後の人々にもつなげていくために、何ができるか私自身も考えていきたいです。

山梨は周囲360度を山に囲まれ、私も登っていない魅力的な山がまだあるので、登ったら情報発信していきたいと思っています。皆さんも山に登ったら情報発信してみてください。そこから山登りの楽しさが伝わり、山に親しむ輪が広がっていくといいなと思っています。山梨には富士山をはじめ、南アル

① スマートフォンまたはタブレットに「aug!」のARアプリをダウンロード（無料）② アプリを起動③ 右の写真にかざすと、自動的に動画が再生されます。

aug!(オーブ)



動画で見てみよう! 小林千穂さんのインタビュー



やまなしで過ごす「山の日」とは

日本有数の山岳県である本県は、山や森林が育む水や空気、多様な生態系、山岳景観、自然豊かな住環境などを有しています。その魅力を広く発信し、より多くの方に山梨の山や森林に親しむ機会を提供し、山の恩恵を実感してもらえよう、県では『やまなしで過ごす「山の日」』事業を実施しています。

8月11日は山の恵みに感謝する「山の日」

本県は富士山をはじめ、南アルプス、八ヶ岳、奥秩父連峰など、四方を山々に囲まれ、県土の78%を森林が占める素晴らしい自然環境に恵まれています。この自然からもたらされる恩恵は、県民が永続的に享受できなくてはなりません。そこで、県では平成9年に自然との共生社会の構築を目指し『やまなし「山の日」』を定めました。また、全国に先駆けて「山の日」が国民の祝日となるように、国や他の都道府県に働き掛

けてきました。こうした活動が実を結び、平成28年に国民の祝日「山の日」が制定されました。それを契機に、県では『やまなしで過ごす「山の日」』事業をスタートしました。この事業は、「山に親しむ」「山に学ぶ」「山と生きる」という三つのコンセプトの下、県民はもとより、県外の方々に対しても「山の日」の意義や山梨の山や森林、それらから生み出される自然の恵みや美しい山岳景観などの魅力を発信しています。



森林環境総務課
帯金 伸至 主任

具体的には、毎年8月11日の「山の日」を中心に、国や市町村、関係団体と連携を図りながら、県内各地で登山やトレッキング、キャンプ、木工体験などのイベントを実施しています。今年も「第4回「山の日」記念全国大会」を本県で開催し、全国の皆さんに、本県の山や森林の魅力を実感していただく絶好の機会を迎えています。

北岳



「山の日」記念全国大会 山梨県で開催

『「山の日」記念全国大会』は、平成28年から毎年「山の日」に合わせて開催されています。国民の祝日「山の日」制定の趣旨である「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」を周知し、山に関する歴史や文化の継承、環境保全、自然災害への対応など、さまざまな問題の解決と山の未来の在り方について考える機会となっています。

第4回大会は、8月11日に本県で開催します。大会を通じて、山梨の山や森林の魅力と、県が実施している山や森林に関する先進的な取り組みを全国に向けて発信します。本大会を契機に、山梨の山や森林のファンの裾野を全国に広げたいと思っています。



ハケ岳



みずがきやま 瑞牆山



大菩薩嶺

第4回「山の日」記念全国大会

山に親しみ 山に学び 山と生きる ～持続可能な未来へ～



2019年 第4回「山の日」記念全国大会 Yamanashi

8月11日(日)祝

会場：山梨県甲府市・甲府市総合市民会館

【記念式典】 8月11日(日)祝 10時開会 山梨県知事 山梨県議会 山梨県民会 山梨県商工労働振興会 山梨県観光協会 山梨県森林組合連合会 山梨県山岳連合会 山梨県山岳会連合会 山梨県山岳会連合会 山梨県山岳会連合会 山梨県山岳会連合会

【トークショー】 8月11日(日)祝 10時45分～12時00分 山梨県知事 山梨県議会 山梨県民会 山梨県商工労働振興会 山梨県観光協会 山梨県森林組合連合会 山梨県山岳連合会 山梨県山岳会連合会 山梨県山岳会連合会 山梨県山岳会連合会

【山の都歓迎フェスティバル】 8月11日(日)祝 12時00分～午後9時 舞鶴城公園および周辺 小江戸甲府の夏祭りと同様開催

◆富士山火焰太鼓・山梨トロンボーン倶楽部・山梨県警察音楽隊によるステージ

◆森林整備や素材生産などのパネル展示

◆丸太切りやカンナ削りなどの体験コーナー

◆県有林材を使用したFSC認証製品の販売 など

【記念式典・トークショー】(参加者一般公募は終了しています)

8月11日(日・祝)

甲府市総合市民会館 [山の都アリーナ]

山梨の山や森林の魅力、森林を守り育てる活動、水の魅力などを映像や現場に携わる方のメッセージを交えて発信。日本を代表する山岳県・森林県である山梨県から、山の恩恵への感謝と、それを守り育てる思いを未来へ引き継いでいきます。また、今号でお話を伺った山岳ライター小林千穂さんらによるトークショーも行われます。

【山の都歓迎フェスティバル】(参加自由)

8月11日(日・祝) 午前11時～午後9時 ※一部ブースは午後4時まで

舞鶴城公園および周辺 小江戸甲府の夏祭りと同様開催

- ◆富士山火焰太鼓・山梨トロンボーン倶楽部・山梨県警察音楽隊によるステージ
- ◆森林整備や素材生産などのパネル展示
- ◆丸太切りやカンナ削りなどの体験コーナー
- ◆県有林材を使用したFSC認証製品の販売 など



美しい森林景観で皆さんをお迎えしたい

県では、多くの観光客や登山者の方に美しい森林景観を楽しんでもらえるよう、森林・山岳エリアの観光地における眺望ポイントでの伐採や歩道の整備などを通して、良好な環境の保全、創出に取り組んでいます。

県有林を対象に「おもてなし森林景観創出事業」を実施

平成23年12月に施行した「おもてなしのやまなし観光振興条例」では、おもてなしの推進の柱として「良好な環境の保全、創出」を掲げています。

本事業は、県有林の樹木の成長や雑木などにより失われた眺望ポイントでの伐採や歩道の整備、展望施設やベンチ、案内板などの設置・修繕を行い、美しい森林景観を創出するものです。

整備箇所は、有識者や環境省の自然保護官、写真家などで構成する「おもてなし森林景観選定会議」による検討を経て選定しています。これまで17市町村55カ所の整備を実施してきました。整備した箇所では、写真愛好家や景観を楽しむ観光客が増加したり、景観を生かしたスポーツイベントが開催されたりするなど、地域の活性化につながる成果も見られるようになりました。



観光部 倉本 洋 主幹

来年は東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、本県の美しい自然環境を積極的に世界に向けて発信したいと思っています。今後もおもてなしするために、県民と行政が一体となり、本事業を盛り上げていきたいと考えています。県民の皆さんも、県有林における眺望ポイントについて要望などがありましたら、窓口となる各市町村に情報をお寄せください。

「おもてなし森林景観創出事業」により改善された眺望ポイント

天下茶屋(富士河口湖町)



着工前



完成

大峠(大月市)



着工前



完成

中ノ倉峠(身延町)



着工前



完成



登山は安全にできてこそ楽しめる

本県には高山から低山まで、登山するのに魅力的な山がたくさんあります。安全な登山を楽しむ人がいる一方、山岳遭難事故が後を絶ちません。そこで山岳警備安全対策隊長の宮城隆栄さんに、隊の活動や登山に際して心掛けるべきことについて伺いました。

「山岳警備安全対策隊」が担う責務

「山岳警備安全対策隊」は「昨年に過去最高の遭難件数を記録した現状を受け、昨年3月、警察本部地域課内に設置されました。主な活動は、県警ホームページなどでの情報発信や登山口などに出向いて遭難防止の呼び掛けやチラシ配布を行う遭難防止活動、標高が高く急峻な山域において、高度な救助技術を要する場合の救助活動です。また、県下12の警察署などに在籍する山岳救助隊員に対する訓練指導

救助は、すぐに向かえない場合がある

通報を受けると県警ヘリコプターや地上救助隊の出動を検討しますが、ヘリコプターは、標高の高い山岳地帯や急峻な岩稜帯ではホバリングが困難であったり、また悪天候や日没後には出動できない場合があります。さらに遭難が複数発生した際には、遭難者の容体などに応じて救助の優先順位を決めるため、救助までに時間を要する場合もあります。地上救助隊が出動しても、遭難地点でのビバーク(野宿)をお願いすることも



山梨県警察本部地域課 山岳警備安全対策隊長 宮城 隆栄 警視

あるので、登山される際は慎重に万全な準備をしてくださいます。



山岳遭難防止のための7項目 外国語版もホームページに掲載中



実際の救助を想定した山岳救助訓練

山に関する情報の収集と万全な事前準備を

登る前から登山は始まっています。日ごろの体力づくりや、登山ルートの選定、その行程に見合った装備品の準備、気象状況の確認、登山計画書の提出など、ゆとりある計画で入山してください。自分自身の体調や山の状況は刻々と変化していきます。当日の天候や体調が良くなければ、無理せず中止するようお願いいたします。

また、県警で発行している「山岳情報」なども情報収集に活用してください。登山計画書の提出にはスマートフォンなどから簡単に利用できる登山届出システムの「コンパス」が便利です。



県警発行冊子「山岳情報」ホームページでも公開中



登山計画書の提出が義務となる山域
(12月1日～翌3月31日までの期間指定)

- ・富士山(3000m、おおむね8合目以上)
- ・南アルプス(白根三山、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳など)
- ・八ヶ岳(赤岳、権現岳、編笠山)

【問い合わせ先】
観光資源課 TEL 055-223-1576

山梨の登山・山岳情報ポータル

コンパス (登山届出システム)
「山と自然ネットワーク コンパス」

http://www.mt-compass.com

警察や自治体と連携し 全国山域の登山届けが窓口ひとつでできます！

インターネットで登山届を提出できるほか、登山届・下山通知を家族や友人、警察などと共有できるシステムです。

登山届コンパス

「甲武信」がユネスコエコパークに登録



山梨、埼玉、長野の3県の境にあり奥秩父主稜の中央に位置する甲武信ヶ岳

ユネスコエコパーク(生物圏保存地域)は、自然を厳格に保全することを目的とした世界遺産とは異なり、自然と人間社会の共生を目的とした地域です。既に登録済みの「南アルプス」に加え、6月19日、山梨・埼玉・長野・東京の3県1都12市町村にまたがる地域が「甲武信」として登録され、県内では2カ所目、日本では10カ所目のユネスコエコパークとなりました。



登録決定の連絡を受け、握手を交わす推進協議会の代表者。左から長野県川上村・藤原村長、埼玉県秩父市・久喜市長、長崎知事、山梨市・高木市長



広大な山脈と多様な動植物に 恵まれる「甲武信」

平成28年にユネスコエコパークへの登録を推進するための協議会を設立して以降、県では協議会を構成する自治体と一丸となり、登録に向けて取り組んできました。現在、ユネスコエコパークの登録数は124カ国701地域です。そのうち、日本では今回登録された「甲武信」を含めた10カ所が登録されています。

「甲武信」は甲武信ヶ岳、金峰山、雲取山などの日本百名山が連なる奥秩父主稜を中心とした広大な山岳地域です。荒川、多摩川、笛吹川、千曲川を含む主要な河川の源流部であり、首都圏や周辺地域の水源域と

しても機能しています。また、地質や岩石の豊富さから植物の多様性が育まれ、多くの動物が生息しています。さらに、首都近郊にありながら山岳や森林、溪谷といった四季折々を彩る美しい自然に恵まれ、民俗芸能や山岳・神社信仰にまつわる古来からの文化が保全・伝承されている地域でもあります。

ユネスコという国際機関から世界的な評価を受けたことで、豊かな自然と人間社会が共生する同地域が国際的に注目され、環境保全や教育、人材育成といったさまざまな面で生かされることが期待されます。



ユネスコエコパークの仕組み

3つの機能

① 保存機能 (生物多様性の保全)

人間の干渉を含む生物地理学的区域を代表する生態系を含み、生物多様性の保全上重要な地域であること。

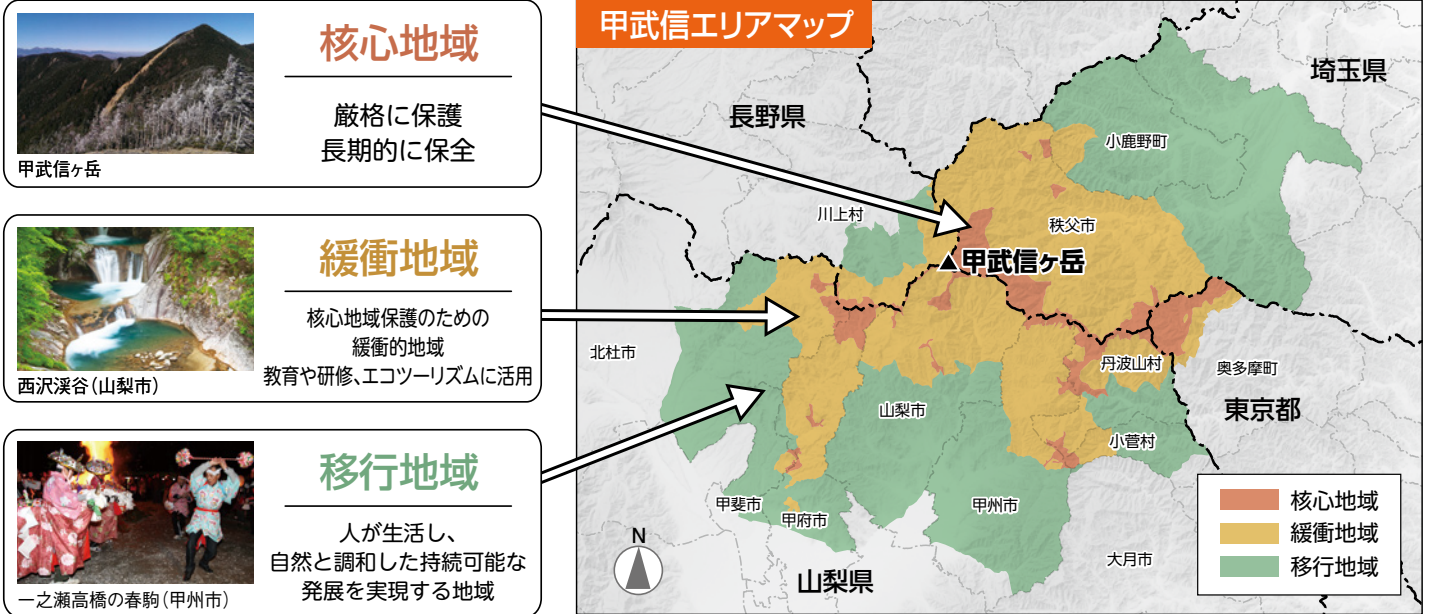
② 学術的研究支援

持続可能な発展のための調査や研究、教育・研修の場を提供していること。

③ 経済と社会の発展

自然環境の保全と調和した持続可能な発展の国内外のモデルとなりうる取り組みが行われていること。

それぞれの機能は独立のものではなく、ユネスコエコパークを相互に強化する関係です。
この3つの機能を果たすために3つの地域を設定しています。



核心地域

厳格に保護
長期的に保全



甲武信ヶ岳

緩衝地域

核心地域保護のための
緩衝的地域
教育や研修、エコツーリズムに活用



西沢渓谷 (山梨市)

移行地域

人が生活し、
自然と調和した持続可能な
発展を実現する地域



一瀬高橋の春駒 (甲州市)



乙女高原ファンクラブ
代表世話人・事務局長 植原 彰 さん

乙女高原では、その昔、農耕馬の冬場のエサなどにするため、秋に草刈りが行われていました。時代が変わっても草刈りは継続され、今日まで受け継がれています。草刈りをする事で草原は保たれ、ここには森と、草原と、その境という二つの生態系が成り立っています。人が関わることで多様な生態系が保たれ、豊かな生物多様性につながっているのです。その豊かな自然環境を継承するためには、変化していく自然の状況を「知る」こと、そして問題点の調査など「行動する」ことが必要です。そのために私たちは県や市、研究者などと協働してさまざまな取り組みを行っています。今回、ユネスコエコパークに登録されたことで、乙女高原を含むこの地域の自然の魅力や価値が認められたことを大変うれしく思います。

今後は、行政の研究機関や大学と連携した生態系モニタリング調査などを期待する一方、私たちは自然の素晴らしさを人に伝える役割を担っていきたいと考えています。自然を守るためには、自然を守りたいという人の心を育てることも大切ですから、自然観察会の開催など、啓発活動を続け、将来的にはこの乙女高原に、自然への玄関口となるビジターセンターのような場がつけられることを期待しています。



草原が保たれることで多種多様な生物が生息する乙女高原 (山梨市)

素晴らしい自然を次の世代に引き継ぐために

乙女高原ファンクラブ



TOKYO 2020



TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES

HOST VENUE

オリンピック開催まで パラリンピック開催まで

358日

390日

(令和元年8月1日現在)

東京2020オリンピック 自転車ロードレース山梨開催！

初めて山梨が五輪競技の会場に

東京2020オリンピック自転車ロードレースのコースは、東京都の武蔵野の森公園をスタートし、神奈川県、山梨県の道志村と山中湖村を通り、静岡県の富士スピードウェイでゴールします。起伏が激しく難易度の高いルート設定で、富士山を間近に望む絶好のロケーションの下、迫力あるレース展開が期待されます。県内で五輪競技が開催されるのは初めてです。これを契機に、富士山をはじめとする本県のさまざまな魅力を国内外に発信し、地域活性化につなげていきます。



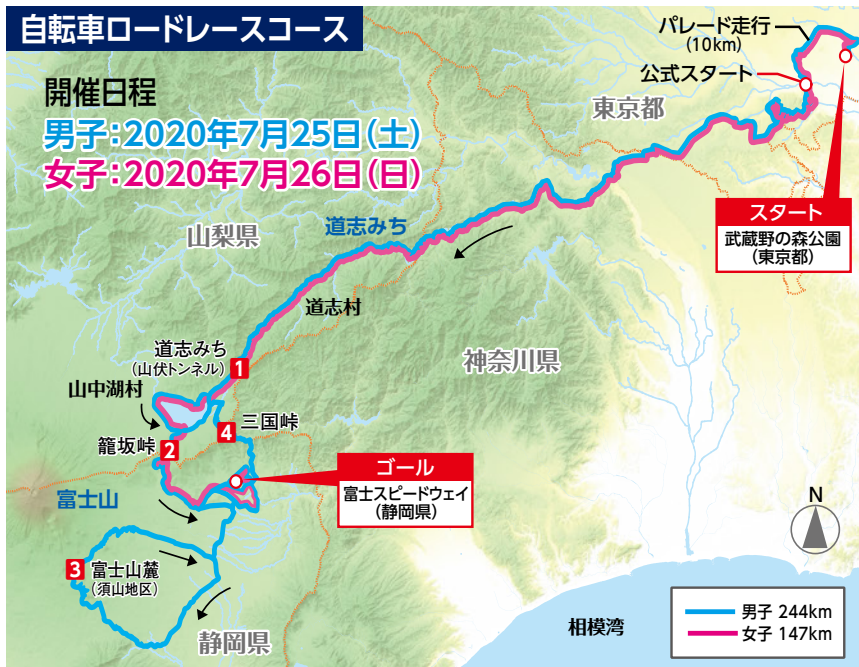
自転車ロードレースコース 道志みち(国道413号)

自転車ロードレースコース

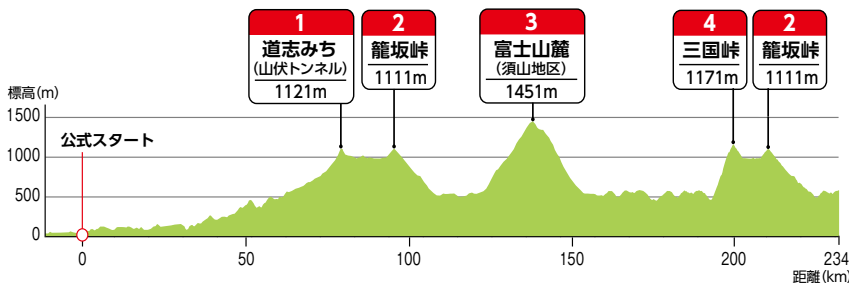
開催日程

男子:2020年7月25日(土)

女子:2020年7月26日(日)

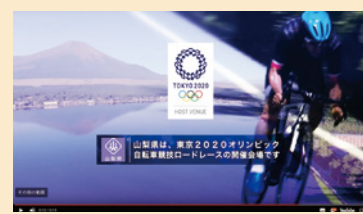


男子コースの高低図



PR動画配信中!

競技の魅力や見どころ
コース概要などを紹介



山梨県都市ボランティアオリエンテーション開催

県では、自転車ロードレースの観戦のため国内外から訪れる方々の交通案内や観光案内などのサポート活動を行う、都市ボランティアを募集しました。ボランティア応募者を対象にしたオリエンテーションでは、活動内容などの説明に続き、ソルトトレイクシティ冬季五輪で組織委員会スタッフを務めた山梨学院大学経営学部の長倉富貴教授による「オリンピックのボランティアをすることの意義」と題した講演が行われました。



©Tokyo 2020

オリンピックで山梨の魅力を世界に発信

山梨が開催地としてオリンピック・パラリンピックを迎えるのは、とてもうれしいことです。オリンピックの大会運営には、ボランティアの存在は欠かせません。こまやかな気配りができる日本人は、世界でも類いまれなおもてなしができるのではないのでしょうか。それをここ山梨で証明できるのは素晴らしいことです。オリンピックでは、さまざまな国の人々や文化に触れ合う機会が増えます。

す。その雰囲気を感じながら、山梨の魅力を発信し、世界とつながるエンタランスとなるのがオリンピックボランティアです。ボランティアはチームで活動します。口下手でも知識が豊富な人、語学力がある人、笑顔がすてきな人など、メンバーそれぞれの良さを出し合つてチームとして機能することが大切になります。



山梨学院大学 経営学部
長倉 富貴 教授

オリンピックでは、世界トップレベルのスポーツを目の前で見ることができま。また、オリンピックは世界各国から訪れる人々との交流の場でもあります。世界を知る、そして山梨を知ってもらう絶好の機会です。県民の皆さんにも、ぜひ会場に出掛けて、皆さん自身の楽しみ方で満喫してほしいと思います。

甲府市内で開催されたオリエンテーションには、およそ100人のボランティア応募者が集まりました。

参加者からは「一人でも多くの人に笑顔になってもらえるように頑張りたい」「山梨県民として、地元開催のオリンピックに携わり、山梨の魅力を発信したい」「語学力を生かして大会成功に役立ちたい」など、熱意ある声が聞かれました。

また、外国籍の参加者は「山梨の豊かな自然やおいしい食べ物を世界に紹介したいです」と笑顔で話してくれました。



オリンピックをイメージしたカラーで県庁別館をライトアップ!

■ 県民の皆さんに東京2020オリンピック・パラリンピックへの参加意識を高めてもらうため、青、黄、黒、緑、赤の五色が重なり合うオリンピックシンボルをイメージしたライトアップを行っています。

■ ライトアップは日没から午後9時まで。パラリンピックが閉幕する2020年9月まで実施します。





[シュン!]

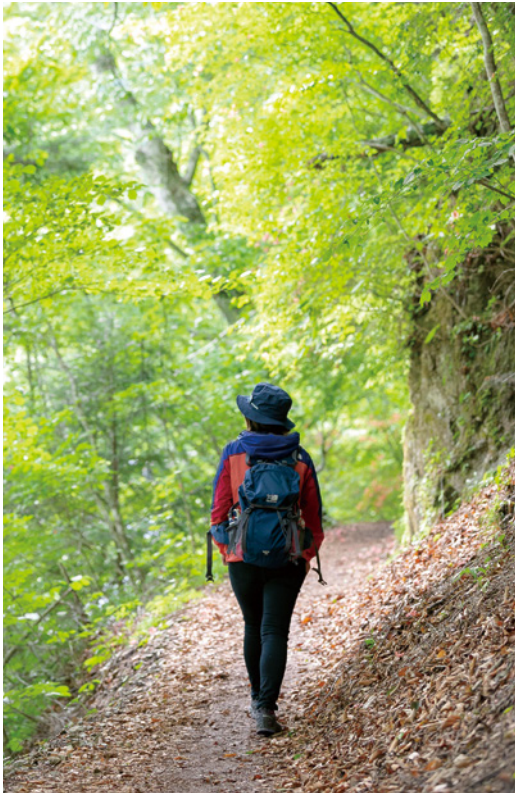
瞬

やまなしの

vol.
21

森が持つ癒やしの力で
たくさんの人を元気にしたい

森林セラピー
山梨市認定ガイド
石橋一美さん



▲一美さんお気に入りの風の道。心地よい風が吹き抜ける



▲岩肌を覆うコケの触感も楽しむポイントの一つ



▲癒やし効果があるといわれている森の香り成分・フィトンチッド。太い幹を抱く「ウッド・ハグ」で、フィトンチッドをたっぷりと吸い込みリラックス

◀「このミズメの木は、魔よけや湿布にも用いられたといわれているんですよ」と、一美さん。手に取った枝からは爽やかな香りが漂う

山梨市森林セラピー推進協議会

事務局:山梨市役所観光課内 山梨市小原西843 TEL 0553-22-1111

山梨市 森林セラピー体験

検索

森で体験した気持ちよさを みんなにも味わってほしい

山梨県内には、科学的根拠に基づき癒やし効果があると認定された「森林セラピー基地」が2カ所あります。一つは武田の杜、そして、もう一つが西沢渓谷。山梨市の団体職員・石橋一美^{ひとみ}さんは、その西沢渓谷で、市から認定された森林セラピーガイドとして、週末に活動しています。

「きっかけは、山梨市の広報で森林セラピー体験の開催を知り、軽い気持ちで参加したことでした」と一美さん。もともと山登りや自然散策が好きで一美さんでしたが、体験した森林セラピーは想像以上に気持ちよく、とても爽快な気分になったといいます。「自然の力つてすごいんだなと改めて気付かされましたし、もつとたくさんの人にこの場所を知ってほしい、この気持ちよさを感じて癒やされてほしいとも思いました」

ツアーを担当していた先輩ガイドからの誘いもあり、後日、森林セラピーガイド養成講座を受講した一美さん。受講期間中に実施される試験に見事合格し、認定ガイドの仲間入りをしました。

森の力を借りて、心身を癒やし 五感を蘇らせる森林セラピー

「森林セラピーは、森の力を借りて日々のストレスで疲れてしまった心や体を癒やしたり、鈍ってしまった五感を蘇^{よみがえ}らせたりして、元気になってもらうというもの。まず、出発前に簡単なカウンセリングをし、参加する方の体調や要望を把握します。その上で歩く速度を調整したり、木やコケに触れてもらったり、枝や葉の匂いを嗅いでもらったりと、参加する方それぞれに合った、自然の力を感じてもらおう場を提供します」と一美さん。シーズン中はガイドの要請も多く毎週のように森に入りますが「毎回新たな発見があつて楽しいです。私自身もガイドをしながら癒やされています」と話します。

豊かな緑に囲まれ、風に揺れる木々の音や、幾重にも重なる川のせせらぎで満ち溢れる西沢渓谷は、美しい季節を迎えています。「こんなに素晴らしい森が身近にあるのだからたくさんの人に来て楽しんでもらい、元気になってもらえるよう、もつと勉強していきます」と、木漏れ日の中で話す一美さんの、はにかみながらも晴れやかな笑顔が印象的でした。

近代消防の普及に尽力した、木喰仏研究の第一人者

小宮山清三

1880-
1933



(個人蔵)

「表消防、裏木喰」と評された小宮山清三。
全国行脚しながら
今日の消防の礎を築く一方で
柳宗悦と共に木喰仏の調査活動を行い
多くの人々に親しまれるきっかけをつくった。



小宮山清三の協力の下、柳宗悦が発刊した『木喰上人作 木彫佛』（山梨県立博物館蔵）
装丁には山梨の地場産品の印伝や和紙を使用



小宮山清三を送る消防葬
(北杜市浅川伯教・巧兄弟資料館蔵)

池田村の村長として 村づくり、人づくりにまい進

小宮山清三は、1880(明治13)年、中巨摩郡西野村(現南アルプス市)の長谷部真三の次男として生まれ、13歳のときに、同郡池田村(現 甲府市)の叔父・小宮山民平の養子となった。1901(明治34)年に甲府教会で洗礼を受ける。その後家督を相続してからは、家業や公共事業に専念するようになった。

1910(明治43)年には山梨県初の青年団を結成したのを皮切りに、区長、村会議員を経て、1914(大正3)年には33歳の若さで池田村の村長に就任した。当時商工業の近代化が進む一方で、農村の大半は人力頼みの重労働と税金に苦しんでいた。清三の池田村も例外ではなく、さらに水田地帯でありながら干ばつと出水に悩まされていた。

清三は、「一村一家族主義」(村人全員が一つの家族となつて協力する)、「護郷立国」(村を守ることで国を興す)をモットーに、池田村の治水、酪農、果樹栽培、耕地整理に情熱を注ぎ、着実に成果を上げていった。

青年教育には特に熱心に取り組み、自宅を集会場として開放したり、青年

団の財源にするため、自分の耕地を提供したりするなど、物心両面の援助を惜しみなく行つた。また、著名な青年団運動の実践者を長野県から招き、池田小学校長とすると、2人の指導の下、村の青年たちは農村の近代化や社会奉仕に積極的に参加していった。

「消防の父」誕生

村長就任の翌年、清三は池田村消防組頭に就任した。それまで消防は、単なる火消し人足と捉えられており、社会的な待遇が悪かった。これに対して清三は、消防は自治政策の第一歩である、国民が日常生活を託す自治体の尊厳を守る消防の尊重が第一、自治体を守る事が国防教育につながる、といった自身の消防理論を多く著した。

清三は山梨県庁とも積極的に協力して、消防操典の作成などを行い、池田村と山梨県の消防組織をつくり上げた。また消防理論や消防技術の普及を目指し、北海道から九州まで講演行脚を行つた。消防への熱意とユーモアの込められた清三の講演には、常に多くの聴衆が集まったという。

さらに清三は大日本消防協会といった消防普及の全国組織の設立にも関わるなど、わが国の消防の近代化にも

大きく貢献し、人々から「消防の父」と称された。

木喰仏を世に出す

政治、消防に限らず事業家としても幅広く活躍した清三は、登山、スポーツ、民芸、絵画、古陶器など、多趣味の人でもあった。1924年(大正13)年、甲府教会で交流のあつた朝鮮民芸の研究者・浅川巧が、民芸運動の推進者・柳宗悦を連れて清三の元を訪れた。このとき清三の所有する八代郡古関村



柳宗悦が小宮山清三邸で出会った木喰仏3体のうちの1体「弘法大師像」(山梨県立博物館蔵)

(現・身延町)出身の僧・木喰五行が全国に彫り残した3体の仏像を目にし、そのほほ笑みに魅了され絶賛する柳に、清三は3体のうちの1体「地藏菩薩像」を贈呈。その後、本格的に調査研究を始めた柳を全面的に支援するとともに、自らも木喰研究に打ち込んだ。消防講演に訪れた先々で木喰の足跡を調べ、二年間で約350体もの木喰仏を発見した。その後も木喰五行研究会を設立し、研究雑誌を発刊するなど、それまで無名だった木喰仏の魅力を広く世間に知らしめた。

1933(昭和8)年、消防講演を行った後、病に倒れた。享年53歳。県下初の消防葬が舞鶴城公園で執り行われ、二万人余りの参列者に見送られた。後に建てられた頌徳碑には「護郷立国」の文字が刻まれ、清三の功績が今もなお、たたえられている。



山梨近代人物館

山梨県庁舎別館2階(甲府市丸の内1-6-1)

第9回展示

「近代甲府を彩った人々―県都甲府500年―」

期間：～9月27日

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：第2・4火曜日/12月29日～1月3日

入館料：無料

TEL 055-231-0988 FAX 055-231-0991

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展 指輪 —指先のきらめき—

指輪は身に着けているときに自分でも見ることができるジュエリーです。また、デザインや着ける指の位置によって印象は変わり、自身の気分を変えることもできます。

とても身近な装身具である指輪は、山梨でも時代のニーズを踏まえ、卓越した技術を用いて数多く制作されています。日々の生活に彩りを添える、豊かな指輪のバリエーションをお楽しみください。

開催期間／～10月21日(月)
観覧料／無料



制作:(株)GAIA GEM



制作:(株)コダマ

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

夏季企画展 山梨にでっかい古墳ができたわけ。—上の平遺跡発掘40周年—

約1700年前、人々は日本列島の至るところで有力者の墓である古墳造りに熱狂し、山梨でも甲斐銚子塚古墳に代表される大型の前方後円墳をはじめ、大小さまざまな古墳が築かれました。

本展では、日本を代表する高山に囲まれた山梨に、いかにして東日本最大級の古墳が築かれるに至ったのかを、今年で発掘開始から40周年を迎える上の平遺跡と周辺の古墳群との関わりから探ります。

開催期間／～8月25日(日)
観覧料／無料



前方後円墳を造る様子(イメージ)



上の平遺跡・航空写真(甲府市)

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

夏期特別企画展

いきものハンター —無人島の生態系を調査せよ!—

「いきもの」をテーマに、未開拓の無人島に生息する巨大生物や危険生物にスポットを当て、生物の不思議に迫ります。精巧な生物のロボットのほか、体験型の映像アトラクション、剥製や標本の展示などを存分にお楽しみください。



開催期間／7月20日(土)～8月25日(日)
観覧料／大人200円 小人無料

※入館料別途。土曜日は、高校生以下入館無料

県立図書館

甲府市北口 2-8-1
TEL 055-255-1040
FAX 055-255-1042

夏期やま読ブックフェア

山梨の読書活動を推進する「やま読」では、「この夏あなたにお勧めしたい1冊」と題して、金田一秀穂館長、辻村深月さん、辻村さんの恩師や同級生、司書がお勧めする本を一挙に展示しています。

開催期間／～8月31日(土)
観覧料／無料



昨年の展示の様子

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

特別展 黄昏の絵画たち 近代絵画に描かれた夕日・夕景

独特な光の移ろいや、情緒がある「夕日・夕景」の時刻の表情は、多くの画家たちの心を捉え続けてきました。

本展では、この「夕日・夕景」のモチーフに着目し、19世紀から20世紀にかけての西洋と、その影響を受けながら独自の表現を生み出そうとした近代日本を中心とした、東西両洋の画家たちの幅広い作品を紹介します。ぜひご鑑賞ください。

開催期間／～8月25日(日)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



カミーユ・ピサロ
《ルーアンの波止場・夕陽》
1896年
(ヤマザキマザック美術館蔵)



ライオネル・ファイニンガー
《夕暮れ海I》
1927年
(愛知県美術館蔵)

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

夏期企画展 すごすぎる! ねこ展 ～ヒトとネコの出会いと共存の歴史～

かつて、ネコはネズミを求めてヒトに近づき、ヒトはネコを身近に住ませることで食料や経典、カイコの守り役を得ました。ヒトはネコの姿やしぐさに魅了され、神秘的な性質を畏れ、さまざまな芸術作品や信仰を生み出しました。

本展では、絵画や歴史資料、ネコ科動物の剥製や化石などを展示し、ヒトとネコの共存の歴史をたどるとともに、ネコの野生の側面を紹介します。また、猫写真家・沖昌之氏の写真も展示します。ぜひご覧ください。

開催期間／～9月2日(月)
観覧料／一般1,000円 大学生500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



ネコ?の足跡の付いた須恵器
(姫路市教育委員会蔵)

県立文学館

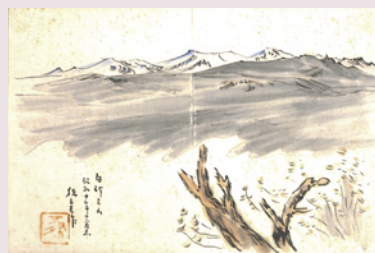
甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

開館30周年記念 特設展 山と水の文学

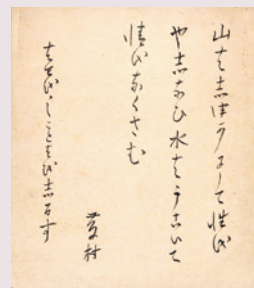
四季それぞれに豊かな表情を見せ、人をひきつける山。そこに源を発して流れ下る溪流や、静けさをたたえた湖や沼は、変化に富んだ美しさで私たちに魅了します。

本展では、「山と水」をテーマに、芥川龍之介や井伏鱒二、茨木猪之吉、島崎藤村らの詩歌や小説、随筆、紀行文などの文学作品を紹介します。

開催期間／～8月25日(日)
観覧料／一般320円 大学生210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。

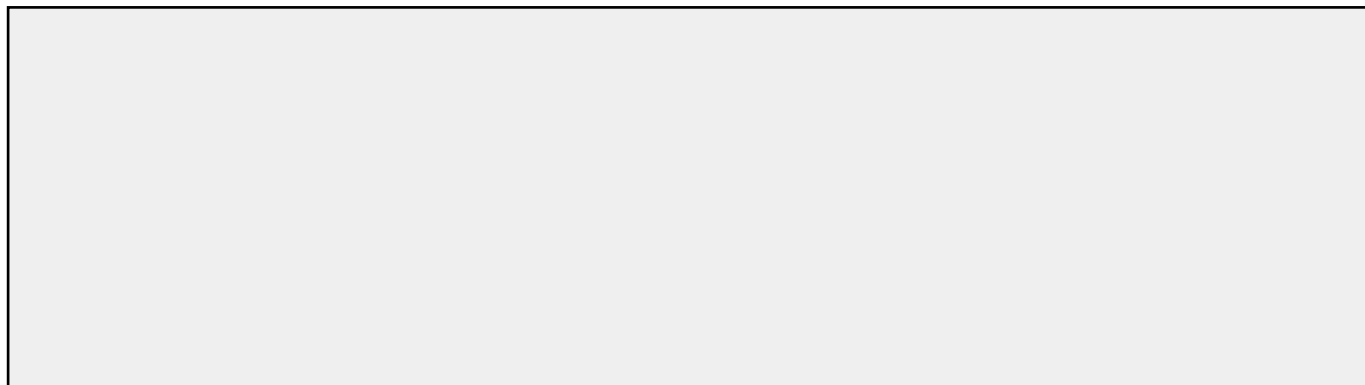


茨木猪之吉 画帖「甲斐のやま山」より「白峰三山」



島崎藤村 筆
「山はしづかにして性をやしなひ」色紙

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



ふれあい 読者プレゼント

ハンさんの おいしいくわ茶

(「株」桑郷)提供

抽選で**5名**の方に!



「美味しい甲斐開発プロジェクト」
については、ホームページを
ご覧ください。

美味しい甲斐開発

検索



アンケート

問1:今号の中で最も関心を持った内容は?

問2:あなたが紹介したい山梨の山の魅力は?

※頂いたご意見の一部は、秋号で紹介させていただきます。

応募方法

アンケートの回答と、次の①～⑥をご記入の上、はがき、電子メール、
ファクスのいずれかの方法でご応募ください。

①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④年齢・性別 ⑤電話番号 ⑥電子メール
(ある方)

応募先

山梨県広聴広報課「ふれあい読者プレゼント」係
はがき:〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

電子メール:koucho@pref.yamanashi.lg.jp
(件名に「ふれあいプレゼント」と入力)

ファクス:055-223-1525

締め切り

8月31日(土)(当日消印有効)

商品の発送をもって、当選発表に代えさせていただきます。
個人情報は商品の発送のほか、県からのお知らせなどのために、使用させていただく
ことがあります。

春号のアンケートに寄せられたご意見の一部を紹介! 「山梨の郷土食」あなたのイチオシとその理由は?

最も多かったのは、ほうとう

野菜や肉が豊富に入り、栄養バランスが良い(甲府市・70代女性)。出来たても翌日もおいしい(甲府市・50代女性)。小豆ほうとう。かぼちゃとは違う甘い味に驚き(甲府市・10代男性)。



その他

鳥もつ煮。ご飯にもお酒のおつまみにもバッチリ(甲府市・30代女性)。甘いお赤飯。お祝いのたびに食べられるうれしさ(甲斐市・20代男性)。やまなしジビエ。低カロリー、高タンパクで栄養豊富なのでオススメ(甲斐市・30代男性)。吉田のうどん。コシがあり、腹持ちが良い(富士吉田市・50代女性)。



県政情報
発信中!



ホームページ



Facebook



Twitter



広報誌



広報番組

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

